

(2) 地域区分の考え方

市域は、環境及び土地利用の特性から、山間地域、丘陵・里山地域、農地地域、市街地地域、そして河川流域、道路・鉄道沿線地域といった6つの地域に分類されます。

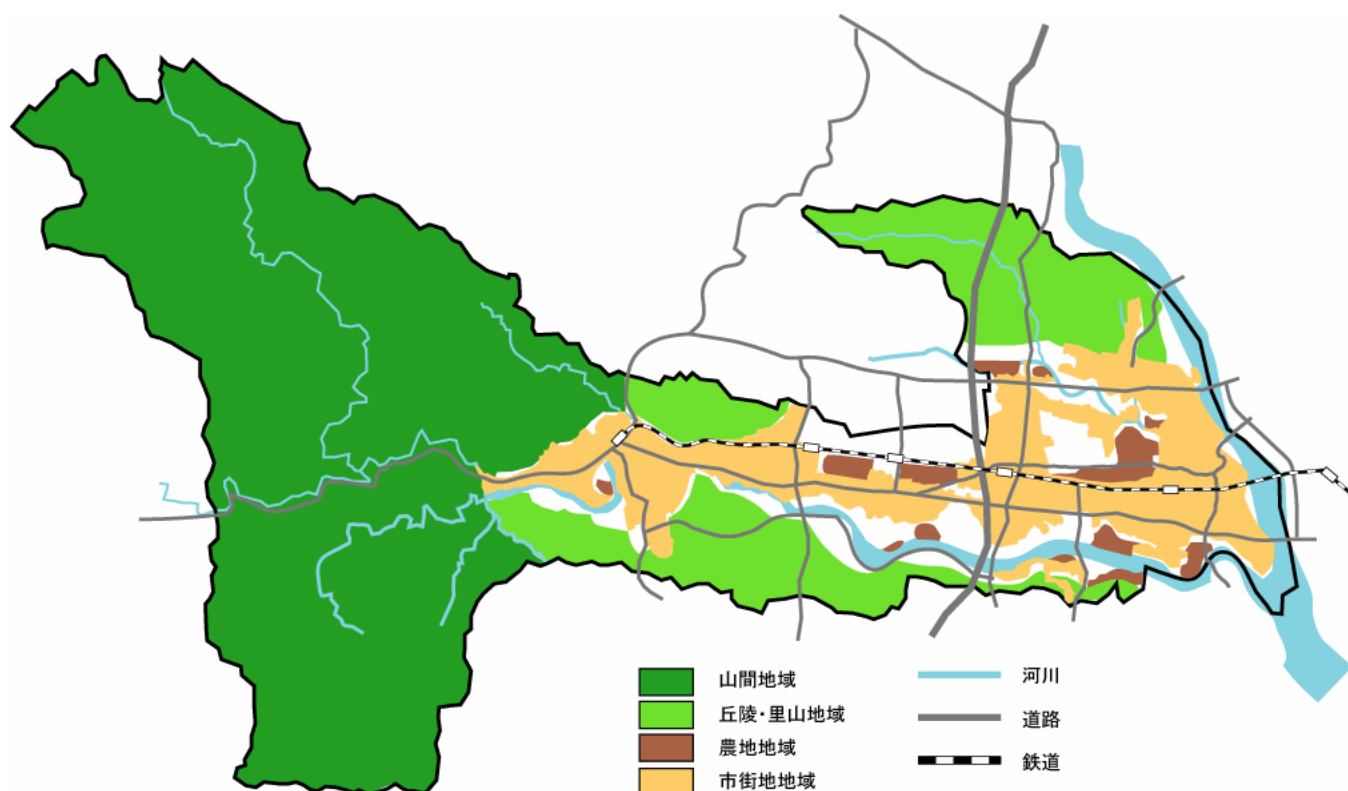
これら6つの地域区分ごとに、その地域の特性や環境課題を踏まえて、目標とその実現に向けて必要な施策の展開方策、また、環境配慮事項や環境保全の方向性をまとめました。

さらに、地域の中でも、特定の地区で進める施策については、地区ごとにその方向性などをまとめました。

【6つの地域】

山間地域
丘陵・里山地域
農地地域
市街地地域

河川流域
道路・鉄道沿線地域



「河川流域」には主要な河川の流域が、「道路・鉄道沿線地域」には主要な道路及び JR 五日市線の周辺地域が含まれます。ただし、そのエリアは他の地域と重なるため、主な河川と主要道路・鉄道のみを表記しました。

図 地域区分図

2 地域ごとの方針

(1) 山間地域

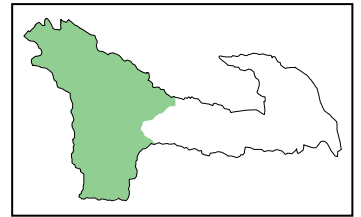
豊かなみどりと共生した循環型のまち

地域特性

市域西部に位置し、本市の緑の骨格となる地域です。大部分を占める森林は、ほとんどがスギ・ヒノキ林ですが、モミなどの自然林が所々に分布し、その谷間を流れる秋川や養沢川などが美しい溪谷を形成しています。

森林は様々な公益的機能*を有しており、本地域は豊かな自然環境資源としてはもちろん、二酸化炭素吸収源や、景観資源、観光資源、環境教育・レクリエーションの場、多様な生物の生息空間としても重要な地域です。

秋川や養沢川沿いに集落が形成され、鍾乳洞や釣り場などには、市内外から多くの人が訪れています。また、十里木・長岳地区では、バイオマスエネルギーを利用した温浴施設の建設を進めており、ここを拠点とした体験・交流型の観光や環境教育の展開などによる、環境と共生した循環型のまちの実現を目指します。



【山間地域の主な資源】



山間地域で重点的に進めるべき施策

山間地域では、様々な主体の連携によるバイオマスタウン構想の実現や、快適な住環境づくりにより、豊かなみどりと共生した循環型のまちづくりを進めていきます。

□ バイオマスタウン構想の実現

市や関係機関、市民・観光客とが一体となって、十里木・長岳地区の温浴施設でのバイオマスエネルギーの利用を通じて、森林保全や地球温暖化の防止（CO₂吸収源の確保）温浴施設を拠点とした参加・体験型の観光事業の展開、環境教育の推進による地域間交流や地域活性化を目指していきます。



十里木・長岳温浴施設建設地

□ 快適な住環境づくり

快適な住環境づくりとして、下水道の整備や単独浄化槽*から合併処理浄化槽への切替を促すなど、住環境の向上、水質への負荷低減を図ります。

山間地域での環境配慮事項

山間地域での開発等に当たっては、その豊かな森林と清流のまとまりや、これらが織り成す景観の保全などに努めていく必要があります。

環境配慮事項の例

- 地形の改変は極力避け、地形を生かした開発等を行います。
- 清流とそれを囲む緑の連続性やまとまりを極力確保して、森林地域の生物多様性の保全に努めます。
- 鍾乳洞などの地域特有の地質・地形等の保全・PR に努めます。
- 森林の持つ公益的機能を適正に評価して、その維持・保全に努めるとともに、その活用を図ります。
- 地域の資源を最大限に生かして地域内での循環を図り、将来にわたって利用可能にします。
- 森林の保全・育成を担う人材の確保に努めます。
- 美しい渓谷や、水辺と周辺の緑などが織り成す自然景観の保全に努めます。
- 施設等を建設する場合は、周辺景観と調和するような建物の高さや色、デザインに
配慮します。など

(2) 丘陵・里山地域

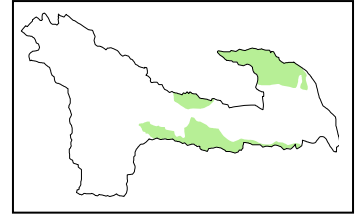
里山の環境・文化を守り、伝える

地域特性

この地域には、秋留台地を取り囲むように分布する、草花丘陵、秋川丘陵、滝山丘陵の3つの丘陵部と、横沢入などが含まれます。

この地域の樹林は、クヌギやコナラ、クリなどの落葉広葉樹林（雑木林）が中心となっており、「谷戸（やと）」と呼ばれる、入り組んだ地形も見られます。これら一帯は「里山」と呼ばれており、樹木は薪や炭などの燃料として活用し、落葉等は堆肥にして田畑に利用するなど、暮らしの営みの中で、人が定期的に管理することによって維持されてきました。しかし、現在では、生産の場としての役割を失って、十分な管理がなされずに竹林などの侵入が進み、その多様な環境の維持が困難になってきています。

このような状況の中、横沢入は、「東京都自然保護条例**」に基づく里山保全地域の第1号に指定されました。ここをモデルとして、多様な主体が協働した里山保全活動を進め、里山の環境・文化を守り、伝えていくことを目指します。



横沢入（谷戸部）：東京都里山保全地域

【丘陵・里山地域の主な資源】



丘陵・里山地域で重点的に進めるべき施策

丘陵・里山地域では、市内の里山環境の現状（植生、管理・利用状況など）を調べ、評価した上で、それぞれの実情等に応じた計画的な保全方策を検討・実施し、里山での暮らし（里山文化*）の継承を進めます。

□里山の環境・文化の計画的な保全と継承

里山環境の現状を適正に評価し、それぞれの実情に応じた保全・活用方策を検討します。

その上で、横沢入をはじめとして、モデル地区を選定し、地権者やボランティア、近隣の学校等と一体となった保全・活用活動を進めていくとともに、里山の環境・文化の保全・育成を担う人材（ボランティア等）の育成に努めます。



東京都緑のボランティア草刈講習会
（横沢入にて）

□里山環境の活用

小・中学校での環境教育・環境学習の場として、また、市民の自然とのふれあいの場として、里山環境の積極的な活用を進めます。

丘陵・里山地域での環境配慮事項

丘陵・里山地域での開発等に当たっては、山地からの連続性や、里山固有の多様な環境の保全、また、里山らしい景観の保全などに努めていく必要があります。

環境配慮事項の例

- 地形の改変は極力避け、地形を生かした開発等を行います。
- 山地からの連続性の確保、まとまりの確保に努めます。
- 里山らしい風景・景観の保全・再生に努めます。
- 里山の持つ多様な環境（雑木林、水田・畑、湧水等）を維持・保全するように努めます。
- 里山の環境や、そこでの暮らし（里山文化）を広く伝え、その継承を図ります。
- 里山固有の生態系の保全、貴重種（RD種等）などが生育・生息できる環境の保全に努めます。
- 里山での循環型の暮らしの文化を学び、体験ができるような利活用に努めます。
- 環境教育・環境学習の場及びレクリエーションの場としての活用や、景観・防災・気象緩和などの様々な機能を生かした利活用を進めます。
- 伊奈石の遺構（石切場跡）周辺一帯は、地域の貴重な歴史資源・文化財として、保全に努めます。

など

(3) 農地地域

都市や暮らしと共存する農の保全

地域特性

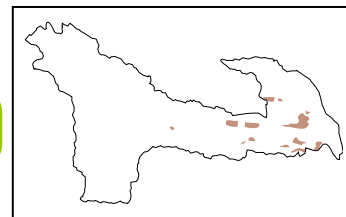
秋留台地に分布する畑地、河川沿いの低地部に見られる水田など、まとまりある農地が分布する地域です。

山間部（五日市地区、戸倉・小宮地区）や台地部（東秋留地区、秋川地区、増戸地区など）で、それぞれ特徴的な農業が行われています。

農地は多様な環境保全機能を有しています。しかし、本市でも、農家数や農業従事者の減少・高齢化、遊休農地の存在など様々な問題があり、その機能が十分に生かしくなくなっています。

また、市街化区域内では農地と住宅地が混在しており、市民生活と農業の共存も課題となっています。

今後は、都市や市民の暮らしと農地が共存する特徴を生かして、農地の保全・活用を目指していきます。



【農地地域の主な資源】



農地地域で重点的に進めるべき施策

農地地域では、子どもから大人まで、市内外の人が広く「農（農業・自然）」とふれあい、親しめる機会を増やします。

□農とのふれあい・あきる野産の農産物の利用促進

体験型農業や都市交流型農業を進めることにより、農とのふれあいの機会を増やします。

また、とうもろこし、のらぼう菜、ゆずなど地域の特産品の PR・販売促進に努めるとともに、新たな特産物の開発（あきる野ブランド）に努めます。

市内で発生する剪定枝や生ごみ等からつくった堆肥を利用して農産物を栽培し、収穫した農産物は地域内で消化（ファーマーズセンターを中心とした販売の促進）するとともに、その廃棄物は再度堆肥化するなど、農による地域内資源循環の実現を目指します。

さらに、農薬の適正使用や、有機農法・減農薬などの環境に配慮した農業を進めるとともに、臭気等の対策を講じて、農業と市民生活の共存を図ります。



□農地の保全と活用

遊休農地の解消をはじめ、意欲ある農家への利用集積や農地の利活用を通じて適正管理・保全を進め、農地が持つ多様な環境保全機能の維持・回復に努めます。

農地地域での環境配慮事項

農地地域では、農地が持つ機能の保全やふれあいの機会の創出、田園景観の保全などに努めていく必要があります。

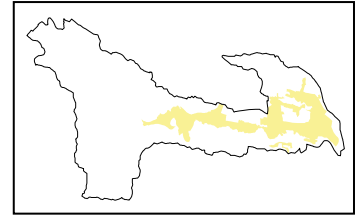
環境配慮事項の例

- 農地が持つ多様な環境保全機能を適正に評価し、その機能の保全・活用を進めます。
- 優良な農用地（農振農用地）を中心に、まとまりある農地の一体的な保全に努めます。
- 農業廃棄物などの活用に努め、地域内での資源循環を目指します。
- 川沿いに一面に広がる水田などの美しい田園景観をはじめ、農がある風景の保全に努めます。
- 参加・体験型の農業など、子どもから大人まで市内外の人が農にふれあう機会を創出します。
- 農業等に伴う臭気などの発生を防ぎ、市民生活との共存に努めます。
- 農業と観光や福祉、環境などを結びつけた、新たな産業・ビジネスの創出などによって、地域振興に努めます。

など

(4) 市街地地域

安全で美しい、歩きたくなるまち



地域特性

秋留台地上の市街地が広がる地域で、JR 五日市線の沿線に分布しています。

地域内には、大規模な公園や農地（畑など）、社寺林・屋敷林、河川などの自然資源と、学校、図書館などの文化施設、商業・業務施設や工場等が混在しています。また、周辺部には崖線緑地が分布しており、湧水も豊富に見られます。



また、市では、地域特性を生かした産業誘致を進めています。圏央道の開通に伴い、商業施設の集積等が予想されます。

市街地地域内にある多様な資源を生かすとともに、さらなる開発・発展が見込まれる地域では、まちの「顔」づくりや、魅力的なまちづくりを進め、安全で美しい、市民や来訪者が思わず歩きたくなるようなまちを目指していきます。

【市街地地域の主な資源】

